

高等教育活性化シリーズ 133(通算 406 回)

2008 年 12 月 8 日(月)

学生の実態・ニーズと社会からの要請

学士課程教育の体系化 コンセプトと実現方策

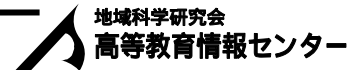
～ 学士課程プログラム / 達成度評価手法 / 高校教育との接続とは? ～

学士課程の教育宣言～“筑波スタンダード” / 作成プロセスと DP・AP / 新・教養教育
 学士課程教育の構造 / 3 ポリシーの明確化 / 観点別教育目標 / 認証評価への対応
 カリキュラム改革～代表例 / 海外モデルの日本への適用 / アウトカム重視プログラム

講師陣

- 石田 東生 氏 / 筑波大学学長特別補佐・教育企画室長、大学院システム情報工学研究科教授
 沖 裕貴 氏 / 立命館大学教育開発推進機構教授、教学・学生実態調査・分析センター長
 元・山口大学大学教育機構教授
 川嶋太津夫 氏 / 神戸大学大学教育推進機構教授
 中教審大学分科会制度・教育部会学士課程教育小委員会専門委員
 同・小委員会高大接続 WG 座長代理

2008 年 12 月 8 日(月) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)



日時: 2008 年 12 月 8 日(月) 10:00 ~ 16:40
 会場: 剛堂会館ビル(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362
 アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より徒歩
 4 分、JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口から
 徒歩 10 分
 会場の地図及び受講証を送付しますので
 必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 41,000 円(消費税込)
 B. メディア参加(資料・カセットテープ送付) 42,000 円(送料、消費税込)
 参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の
 都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ
 FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 全ての口座名 <(株)地域科学研究会 >
 ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。
 申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03(3234)1231 / Fax: 03(3234)4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 133 2008 年 月 日
 学士課程教育の体系化 コンセプトと実現方策 当日参加 メディア参加

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____ FAX _____ 連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

通信欄 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類(請求書 見積書)

この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ~ 11:50	<p>筑波スタンダードと教育改革 ~ 全学の目標達成方針と各学群・学類の4つの具体策と実現に向けたFDの新展開~ 筑波大学 石田 東生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 筑波大学の学士課程教育の現在 <ul style="list-style-type: none"> (1) 筑波大学建学の理念 (2) 教育組織の特徴 (3) 科目構成 (4) 科目編成の体制 2. 筑波スタンダードの概要 <ul style="list-style-type: none"> (1) 作成プロセスの概要 (2) 全学版の構成 (3) 学群・学類版の構成 3. 筑波スタンダードと教育改革 <ul style="list-style-type: none"> (1) 筑波大学ファカルティディベロップメントの考え方 (2) FD活動の概要 (3) 新しい教養教育を目指す試み <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
12:50 ~ 14:40	<p>教育目標から考える学士課程教育の構造 ~ 3つのポリシー(DP, CP, AP)をどう明確化するか~ 立命館大学 沖 裕貴</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学設置基準改正の意味 <ul style="list-style-type: none"> (1) 「目標に準拠した評価」への転換 (2) FDは「日常的な教育改善活動」 (3) 「体系性・整合性・適切性」と「妥当性・有効性」への対応 2. 学士課程教育の構造(DP, CPの明確化の方策) <ul style="list-style-type: none"> (1) 「体系性・整合性・適切性」の担保の仕組み (2) 「観点別教育目標」と「カリキュラム・マップ」 (3) 「厳格かつ客観的な成績評価」の本当の意味 3. 「妥当性・有効性」への対応策 <ul style="list-style-type: none"> (1) 包括的なFDの効果検証の必要性 (2) 教育改革総合指標(TERI)の考え方 4. AP策定の基本 <ul style="list-style-type: none"> (1) APへの「観点別教育目標」の利用 (2) 入試方法、入試科目とAPとの整合性 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
14:50 ~ 16:40	<p>学士課程教育の体系化・構造化 ~ アウトカムを重視 / 論点の明確化と今後の方向性~ 神戸大学 川嶋 太津夫</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等教育の環境変化とインプリケーション ~ アカウンタビリティの圧力、ポートフォリオ社会への移行~ 2. 高等教育のパラダイムシフト ~ 大学の使命 / 教育・学習理論の転換 / 学位の意味~ 3. 学士課程教育改革3つのパターン ~ 新潟大学型 / リベラルアーツ型 / 広島大学型~ 4. 中教審審議の論点と要点 <ul style="list-style-type: none"> (1) 小委員会から大学分科会『審議のまとめ』 (2) 4月以降の答申化プロセスと新たな諮問 5. 海外大学の事情から学ぶこと <ul style="list-style-type: none"> (1) 注目すべき事例にみる方向性とモデル (2) 取り入れるべきモデルとその根拠 6. アウトカムを重視した学士課程教育の構築を目指して ~ ラーニング・アウトカムズ、教授学習方略、アセスメントの一貫性・整合性~ <p style="text-align: right;">質疑応答</p>